

ワイタ (Vajta)

ワイタの基本データ

地域: 中央ハンガリー

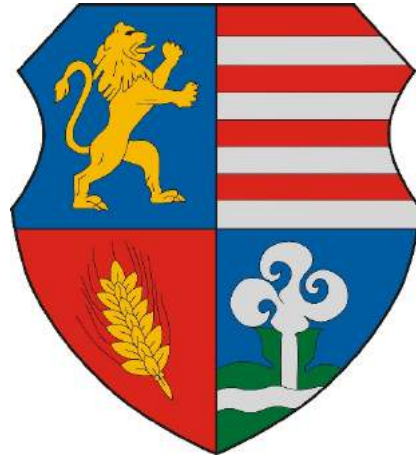
県: フェイエール (Fejér megye)

面積: 23,43 平方キロメートル

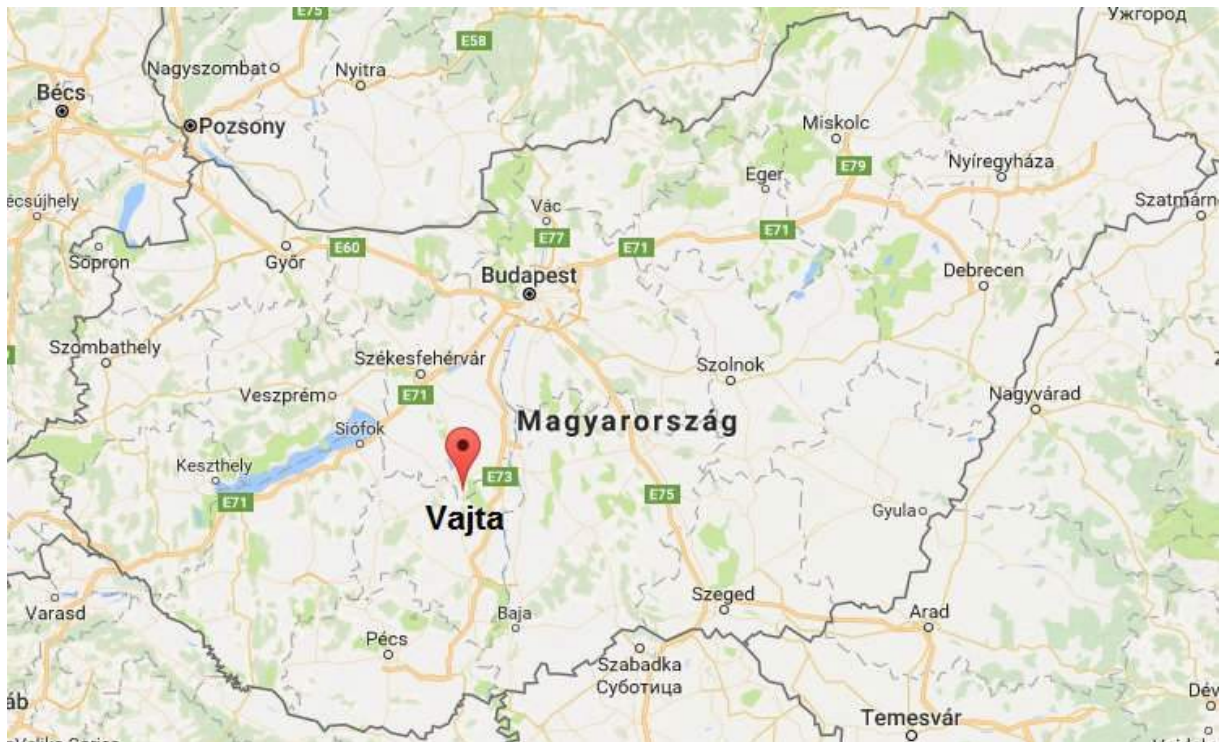
人口: 966 人 (2015 年 1 月 1 日現在)

人口密度: 38,92 人/Km²

郵便番号: 7041



ワイタは中央ハンガリーのフェイエール県(Fejér megye)にある小さい町です。ブダペストからは 120 km 離れていて、南西の方向にあります。住民は主に畜産や植物の栽培や葡萄を栽培しています。集落には温泉や城や馬牧場のクラブもあります。



ワイタへのアクセス

ブダペストからだと鉄道や長距離バスで行くことができます。鉄道で行く場合、南駅 (Déli pályaudvar) か東駅 (Keleti pályaudvar) からペーチ行きの列車に乗ると、2 時間ぐらいで着きます。ただ、駅から村の中心まで 2 km 歩かなければなりません。



ワイタの名前の由来

ワイタの名前は、ワイタと言う名前の指導者に由来しています。ワイタは自分の部族と一緒にこの地に移り住みました。

ワイタの歴史

ワイタには、石器時代から人が住んでいたといわれています。この町は、1324年の記録に初めて登場しました。そのときは Simontornya という村に付属する土地となっていました。



A Simontornyai vár
シモントルニヤの要塞



Károly Róbert
カーロイ・ローベルト王

Károly Róbert¹王は、1324年にこの地を三等分して、3人の貴族にあげました。1つの土地には自由身分の住民を移住させました。この住民は、5年間税支払の免除をもらいました。2つ目の土地は Simontornya の付属の土地となりました。そして最後の3つ目の土地に農奴を移住させました。その後、この領域はたくさん家族の荘園となりました。1397年と1425年の間には、また、Simontornya に付属する土地だけとなりました。この時 Ozorai Pipo²と言う人は Székesfehérvár の Boldogasszony 教会をこの町に寄贈しました。しかし、16世紀にこの教会の史料館で火災のせいで燃えてしまい、1425年から16世紀の間の情報がなくなりました。

まいました。トルコに支配された時代³にも、この町にはハンガリー人の住民がずっと住んでいましたが、15年間の戦争で町が滅びてしまいました。1617年に荒野となりました。



Zichy István
ジチ・イシュトヴァーン

1650年に Zichy István という貴族が王からこの土地をもらいました。この貴族1690年にハンガリー人とドイツ人の住民を移住させましたが、これらの人たちは、時間が経つに連れて土地を離れました。トルコに支配された時代の後で、スラブの住民が村を建て住み始めました。しかし、1702年の書類によると、この地は再び荒野となったようです。1715年に Zichy 家族が移住の計画を始めました。最初の移住は1720年でした。後で、カルビン派の家族とルター派の家族が定住しましたが、1743年に新教徒から信教の自由を奪われて、住民は引越していきました。Zichy 家は1746年に村にハンガリー人の農奴を移住させました。この村は第二次大戦まで、Zichy 家⁴の領地でしたが、1945年にこの土地を公のものにしました。

1948年に村の学校を国営化させました。そして農夫を農協に強制加入させました。1989年⁵にこの町は国家の所有物になりました。1994年と1997年にガスと電話の回線が取付けられました。

¹ Károly Róbert は1301年から1342年までハンガリーの王でした。

² Ozorai Pipo はイタリア系の男爵でした。

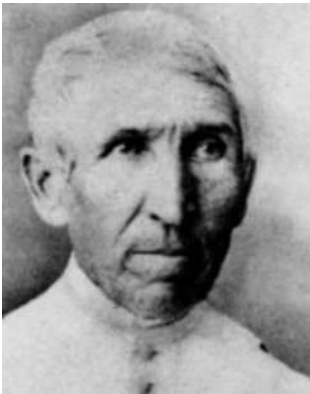
³ トルコはハンガリーで1526年から1699年まで支配されました。

⁴ Zichy 家族はハンガリーの大昔の貴族です。このお金持ちの家族が今だに生きています。



ワイタの有名人

Árvay Gergely (1790 年-1871 年)



Árvay Gergely は、修道司祭であり、ハンガリーの学科アカデミー (Magyar Tudományos Akadémia) の通信員・作家・翻訳者でした。無数の文学作品を書いて、演劇を翻訳しました。

ワイタの名所

Zichy kastély (ジーチ宮殿)

Zichy 宮殿は、1815 年の Pollack Mihály の古典主義様式的设计に従って、Havel Lipót や Schmidt Miksa が Zichy Aladár 伯爵の用命で 1923 年に建てました。

後で、この宮殿は、伯爵の子供のリゾート地になりました。第二次大戦の後、Zichy





家族はスウェーデンに逃避しました。そして領地は共産主義政体の所有物になりました。翌年には、宮殿が政治的な役員の子供の避暑地として使われるようになりました。1956年の革命の後で、体の不自由な子供のためのキャンプ場となりました。体制転換後、宮殿はハンガリーの所有物になりました。しかし、1994年に整備の資金がなくなり、宮殿が管理できなくなりました。2000年に Calvary Chapel (Golgota Keresztény

Gyülekezet)がこの建物を買って、宗教的な大学を作りました。この大学は今もありますが、建物に会議やイベントセンターとしても使われています。

住所: 7041, Vajta Petőfi Sándor u. 562.

電話: +36 70 433 4835

メール: conferences@ccbce.com/

ウェブサイト: <https://www.zichy-vajta.com/>

Hévízfürdő (ヘーヴィーズ温泉)



昔はワイタにも、ヘーヴィーズ温泉という人気があり、高い塩分の温泉プールもありました。しかし、残念ながらビーチはもう何年も前から閉まったままです。

Vajtai Elite Lovas Club / Reischl Lovasmajor

(ワイタの馬牧場)

騎手クラブは、町の境界に広がっています。お客様は、季節ごとに指定された林道で馬に乗ることができます。馬牧場は、1994年から馬の飼育や訓練に従事しています。お客様は、クラブのそばにある共同住宅に宿泊することもできます。

住所: 7041, Vajta Váci Mihály utca



ワイタの観光客向けの宿泊

Rucz Farm (ルーツ・ファーム)



住所: 7041, Vajta József Attila út 20.

電話: +36 25 229 023

+36 30 362 3436

メール: ruczfarm@tvn.hu

Rucz Farm は来客を一年中歓迎しています。

家主は、自分の畑付きの田舎の家に設備が完備された宿泊地を提供しています。4ヘクタールの敷地に野菜畑や耕作地や葡萄園があり、家畜もいます。お客様も農場の労働に体験することができます。そして、酒蔵でオーナーが自分で作ったワインを試飲することもできます。この宿には客室が8つあり16人が泊まれます。そして、来客にとって別の設備の良い台所も用意してあります。

しかし宿は、大きいグループのダイニングを解決することもできます。20人ぐらいの催し物もできます。

Lestár-Ház

(レシュタール・ハーズ)



お子様連れにピッタリのこの宿は一年中開いています。Lestár-Ház でお客様は、設備が完備された二つ部屋の木造の家に

宿泊することができます。木造の家に中庭もあります。食事のサービスは希望に応じて選択できます。他のサービスは: ワインテイasting、釣り、自転車のレンタル、乗馬、ハイキング、馬車での見物、ガラス着色、籠編み、Zichy 宮殿の見学があります。この宿で客室2つに4人が泊まることができます。

住所: 7041, Vajta József Attila u. 36.

電話: +36 25 299 082

+36 20 419 4337

メール: lestarhazvajta@tvn.hu

Szőlőskert Vendégház (葡萄園お客さんの家)



Szőlőskert Vendégház は改装した農家です。

この宿は、お子様づれにもよいバリアフリーの宿です。5人が宿泊することができます。

木造の家の一つで5人が宿泊することができます。

住所: 7041, Vajta József Attila út 3.

電話: +36 25 508 520

+36 30 979 1365

メール: azitop@azitop.hu

ワイタに是非いらしてください！